

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【公開番号】特開2014-189729(P2014-189729A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-68787(P2013-68787)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 K 5/29 (2006.01)

C 08 L 23/02 (2006.01)

C 08 K 5/49 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 L 67/02

C 08 K 5/29

C 08 L 23/02

C 08 K 5/49

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月5日(2016.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

請求項1～5のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物からなる成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、本発明は次の構成を有する。

(1) (A)ポリブチレンテレフタレート5～48重量部および(B)ポリカーボネート52～95重量部の合計100重量部に対して、(C)カルボジイミド化合物0.1～3.5重量部、(D)-オレフィンと、-不飽和酸のグリシジルエステルを共重合成分とするグリシジル基含有共重合体1～15重量部および(E)リン系安定剤を配合してなる熱可塑性樹脂組成物。

(2) 前記(E)リン系安定剤がホスフェート化合物を含む(1)記載の熱可塑性樹脂組成物。

(3) 前記(E)リン系安定剤の配合量が、前記(A)ポリブチレンテレフタレートおよび前記(B)ポリカーボネートの合計100重量部に対して、0.005～0.02重量部である(1)または(2)記載の熱可塑性樹脂組成物。

(4) 前記(C)カルボジイミド化合物および前記(D)グリシジル基含有共重合体の合計配合量に対する前記(E)リン系安定剤の配合量の比(重量比)が0.047/100～1.55/100である(1)～(3)のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

(5) ISO 294に準拠してノッチ付シャルピー試験片を成形し、温度121、湿度100%RH環境下で20時間処理した後、ISO179に準拠して測定したときのシャルピー衝撃強度が25kJ/m²以上となる(1)～(4)のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

(6) (1)～(5)のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物からなる成形品。